

# 電源のオン・オフとスリープモード



iPhoneの電源の状態には、オン、オフ、スリープの3種類があり、サイドボタンで切り替えることができます。また、一定時間操作しないと自動的にスリープします。

## 1 ロックを解除する

- ① スリープ時に本体を持ち上げて、手前に傾けます。もしくは、画面をタップするか、本体右側面のサイドボタンを押します。



- ② ロック画面が表示されるので、画面下部から上方向にスワイプします。パスコード（Sec.64参照）が設定されている場合は、パスコードを入力します。



- ③ ロックが解除されます。サイドボタンを押すと、スリープします。



### MEMO 「常に画面オン」をオフにする

iPhone 16 Pro / Pro Maxでは、ロックされたあとも暗いロック画面が表示されます。画面を完全にオフにするには、ホーム画面で[設定] → [画面表示と明るさ] → [常に画面オン]の順にタップし、「常に画面オン」の  をタップして、 にします。

## 電源をオフにする

- ① 電源が入っている状態で、サイドボタンと音量ボタンの上または下を、手順②の画面が表示されるまで同時に押し続けます。



- ② 電源を右方向にスライドすると、電源がオフになります。



- ③ 電源をオフにしている状態で、サイドボタンを長押しすると、電源がオンになります。



### MEMO ソフトウェア・アップデート

iPhoneの画面を表示したときに「ソフトウェア・アップデート」の通知が表示されることがあります。その場合は、バッテリーが十分にある状態でWi-Fiに接続し、[今すぐインストール]をタップすることでiOSを更新できます。なお、標準ではソフトウェアの自動アップデートがオンになっています。自動アップデートをしたくない場合は、ホーム画面で[設定] → [一般] → [ソフトウェアアップデート]の順にタップし、「iOSアップデート」の  をタップして  にしましょう。

# iPhoneの基本操作を覚える



iPhoneは、指で画面にタッチすることで、さまざまな操作が行えます。また、本体の各種ボタンの役割についても、ここで覚えておきましょう。

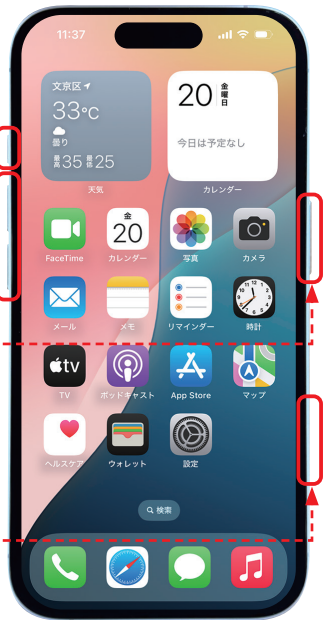
## 1 本体の各種ボタンの操作

**アクションボタン**: iPhone 16では、アクションボタンを押してさまざまな機能を実行できます (P.275 参照)。

**音量ボタン**: 音量の調節が可能です。

**サイドボタン**: 長押しでSiriを起動したり、電源のオン・オフに使用したりします。

**カメラコントロール**: 押すことで「カメラ」アプリが起動します。「カメラ」アプリを起動した状態で押すと写真を撮影、長押しすることで動画を撮影、左右にスワイプすることでズーム倍率の変更やカメラモードの変更ができます。



### MEMO 本体を横向きにすると画面も回転する

iPhoneを横向きにすると、アプリの画面が回転します。ただし、アプリによっては画面が回転しないものもあります。また、画面を回転しないように固定することもできます (P.23参照)。



## 2 タッチスクリーンの操作

### タップ/ダブルタップ

画面に軽く触れてすぐに離すことを「タップ」、同操作を2回くり返すことを「ダブルタップ」といいます。



### タッチ

画面に触れたままの状態を保つことを「タッチ」といいます。



### ピンチ (ズーム)

2本の指を画面に触れたまま指を広げることを「ピンチオープン」、指を狭めることを「ピンチクローズ」といいます。



### ドラッグ/スライド (スクロール)

アイコンなどに触れたまま、特定の位置までなぞることを「ドラッグ」または「スライド」といいます。



### スワイプ

画面の上を指で軽く払うような動作を「スワイプ」といいます。



### MEMO 触覚タッチ

アイコンや画面の特定の箇所をタッチすると、本体が振動して、便利なメニューなどが表示されることがあります。本書では、これを「触覚タッチ」といいます。



# ホーム画面の使い方

iPhoneのホーム画面では、アイコンをタップしてアプリを起動したり、ホーム画面を左右に切り替えたりすることができます。また、アプリライブラリを確認することも可能です。

## iPhoneのホーム画面

**画面上部**：インターネットへの接続状況や現在の時刻、バッテリー残量などのiPhoneの状況が表示されます。



**Dock**：よく使うアプリのアイコンを最大4個まで設置できます。ホーム画面を切り替えても常時表示されます。

**Dynamic Island**：アプリの情報が表示されます。タッチすると操作できる場合もあります（MEMO参照）。

**ウィジェット**：ニュースや天気など、さまざまなカテゴリの情報をウィジェットで確認することができます（Sec.06参照）。

**Appアイコン**：インストール済みのアプリのアイコンが表示されます。

**Spotlight**：さまざまな検索を行うことができます。

### MEMO Dynamic Islandとは

画面上部には、Dynamic Islandと呼ばれる表示領域があります。ここでは、再生中のミュージックや「マップ」アプリの経路案内など、対応するアプリの情報が表示され、タッチやスワイプすることでさらに情報が表示されたり別の操作が行えたりする場合があります。

## ホーム画面を切り替える

### ● ホーム画面を切り替える

- 1 ホーム画面を左方向にスワイプします。



- 2 右隣のホーム画面が表示されます。画面を右方向にスワイプする、もしくは画面下部を上方向にスワイプすると、もとのホーム画面に戻ります。



### ● 情報やアプリを表示する

- 1 ホーム画面を何度か右方向にスワイプすると、「今日の表示」画面（Sec.06参照）が表示され、それぞれの情報をチェックできます。



- 2 何度か左方向にスワイプすると、右端に「アプリライブラリ」画面が表示されます（P.234参照）。画面を右方向にスワイプすると、ホーム画面に戻ります。





# 通知センターで通知を確認する

iPhoneの画面左上に表示されている現在時刻部分を下方方向にスワイプすると、「通知センター」が表示され、アプリからの通知を一覧で確認できます。

## 1 通知センターを表示する

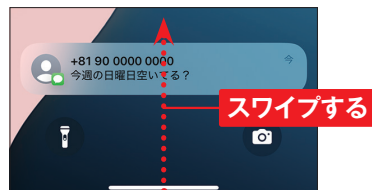
- ① 画面左上を下方方向にスワイプします。



- ② 新しい通知があると、下のように表示されます。画面中央から上方方向にスクロールすると、未処理の通知が表示されます。



- ③ 画面下部から上方方向にスワイプすると、通知センターが閉じて、もとの画面に戻ります。



### MEMO ロック画面から通知センターを確認する

ロック画面から通知センターを表示するには、画面の中央辺りから上方方向にスワイプします。

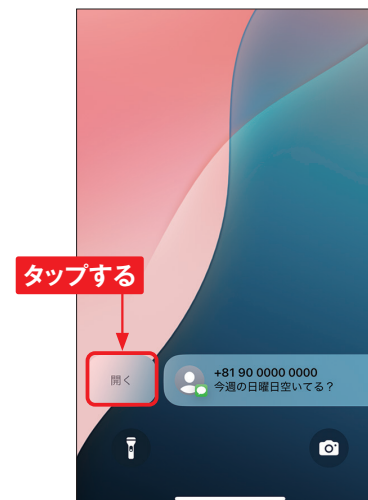


## 2 通知センターで通知を確認する

- ① P.20手順①を参考に通知センターを表示し、通知（ここでは [メッセージ]）をタップします。



- ② 「開く」をタップすると、アプリが起動します。通話の着信やメールの通知などをタップすると、それぞれのアプリが起動します。

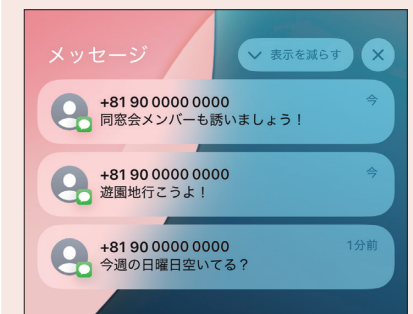


- ③ 通知を左方向にスワイプして、「消去」をタップすると、通知を消去できます。



### MEMO グループ化された通知を見る

同じアプリからの通知はグループ化され、1つにまとめて表示されます。まとめられた通知を個別に見たい場合は、グループ通知をタップすれば展開して表示されます。展開された通知は、右上の「表示を減らす」をタップすると、再度グループ化されます。



# コントロールセンターを利用する



iPhoneでは、コントロールセンターからもさまざまな設定を行えるようになっていました。ここでは、コントロールセンターの各機能について解説します。

## 1 コントロールセンターで設定を変更する

- ① 画面右上から下方向にスワイプします。



- ② コントロールセンターが表示されます。上部に配置されているアイコン（ここでは青表示になっているWi-Fiのアイコン）→ [OK] の順にタップします。

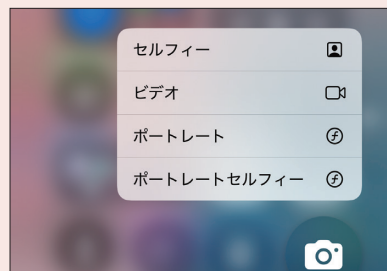


- ③ アイコンがグレーに表示されてWi-Fiの接続が解除されます。もう一度タップすると、Wi-Fiに接続します。画面の下端から上方向にスワイプすると、コントロールセンターが閉じます。



### MEMO コントロールセンターの触覚タッチ

コントロールセンターの項目の中には、触覚タッチで詳細な操作ができるものがあります。



## 2 コントロールセンターの設定項目



- ① 機内モードのオン/オフを切り替われます。

- ② AirDropのオン/オフを切り替われます。

- ③ Wi-Fiの接続/未接続を切り替われます。

- ④ モバイルデータ通信やBluetooth機器などの接続/未接続を切り替われます。

- ⑤ 音楽の再生/停止/早送り/巻戻しができます。

- ⑥ iPhoneの画面を縦向きに固定する機能をオン/オフできます。

- ⑦ 消音モードに切り替えることができます (P.54MEMO参照)。

- ⑧ 集中モードの設定ができます。

- ⑨ 上下にドラッグして、画面の明るさを調整できます。

- ⑩ 上下にドラッグして、音量を調整できます。

- ⑪ フラッシュライトを点灯させたり消したりできます。明るさなどを選択することもできます。

- ⑫ 「時計」アプリのタイマーが起動します。タッチすると簡易タイマーが表示されます。

- ⑬ 「計算機」アプリが起動します。

- ⑭ 「カメラ」アプリが起動します。タッチするとカメラモードを選択できます。

- ⑮ 音楽や動画をAirPlay対応機器で再生することができます。

- ⑯ コードスキャナーが起動します。QRコードなどを読み取ることができます。

### MEMO コントロールセンターの切り替え

iOS 18からコントロールセンターの右にグループのアイコンが表示されており、■をタップするとコントロールセンター、■をタップすると音楽の再生、■をタップすると機内モードやWi-Fiなどのオン/オフが一覧で表示されます。また、画面を上下にスワイプすることでも切り替えることができます。

# ウィジェットを利用する



iPhoneでは、ニュースや天気など、さまざまなカテゴリの情報をウィジェットで確認することができます。ウィジェットの順番は入れ替えることができるので、好みに合わせて設定しましょう。

## 1 ウィジェットで情報を確認する

- ① ホーム画面を何回か右方向にスワイプします。



- ② 「今日の表示」画面が表示され、ウィジェットが一覧表示されます。画面を上方向にスワイプします。



- ③ 下部のウィジェットが表示されます。画面を左方向にスワイプすると、ホーム画面に戻ります。



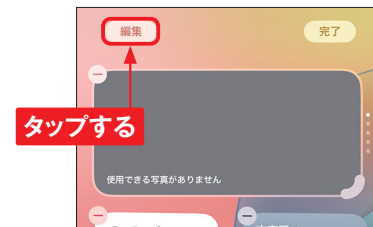
### MEMO ロック画面から表示する

ロック画面を右方向にスワイプすることでも、「今日の表示」画面を表示することができます。



## 2 ウィジェットを追加／削除する

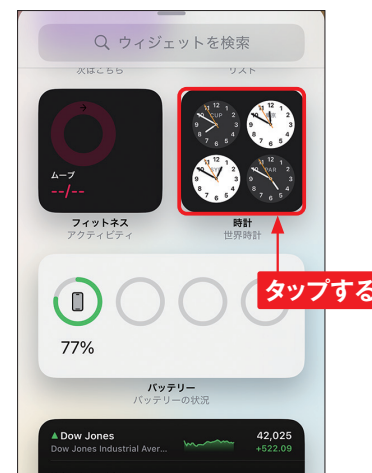
- ① P.24手順②の画面で、ウィジェットのアイコン以外の部分の画面をタッチして「編集」をタップします。



- ② 「ウィジェットを追加」をタップします。



- ③ 追加したいウィジェット（ここでは「時計」）をタップします。



- ④ 画面を左右にスワイプして、ウィジェットの大きさを選び、「ウィジェットを追加」をタップします。



- ⑤ ウィジェットが追加されます。ウィジェットを削除する場合は「削除」の順にタップします。画面右上の「完了」をタップすると、編集が終了します。



### MEMO ウィジェットをホーム画面に追加する

ウィジェットはホーム画面にも追加できます。詳しくは、P.230を参照してください。

# アプリの起動と終了



iPhoneでは、ホーム画面のAppアイコンをタップすることでアプリを起動します。画面下部から上方向にスワイプして指を止めると、アプリを終了したり、切り替えたりすることが可能です。

## 1 アプリを起動する

- ① ホーム画面で🔍をタップします。



- ② Safariが起動しました。画面下部から上方向にスワイプします。



- ③ ホーム画面に戻ります。



### MEMO アプリのアクセス許可

アプリの初回起動時に、アクセス許可を求める画面が表示される場合があります。基本的には許可して進みますが、気になる場合や詳しく知りたい場合は、P.74、P.252を参照してください。

## 2 アプリを終了する

- ① 画面下部から上方向にスワイプして、画面中央で指を止め、指を離します。



- ② 最近利用したアプリの画面が表示されます。左右にスワイプして、アプリの画面を上方向にスワイプすると表示が消え、アプリが終了します。



- ③ 手順②の画面でアプリ画面をタップすると、そのアプリに切り替えることができます。



### MEMO アプリをすばやく切り替える

アプリを使用中に画面下部を左右にスワイプすると、最近利用した別のアプリに切り替えることができます。





# 文字を入力する

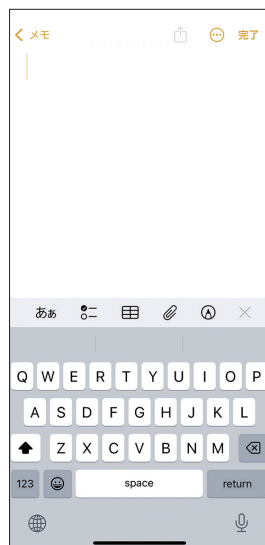
iPhoneでは、オンスクリーンキーボードを使用して文字を入力します。一般的な携帯電話と同じ「テンキー」やパソコンのキーボード風の「フルキー」などを切り替えて使用します。

## 1 iPhoneのキーボード

テンキー



フルキー



### MEMO 2種類のキーボードと4種類の入力方法

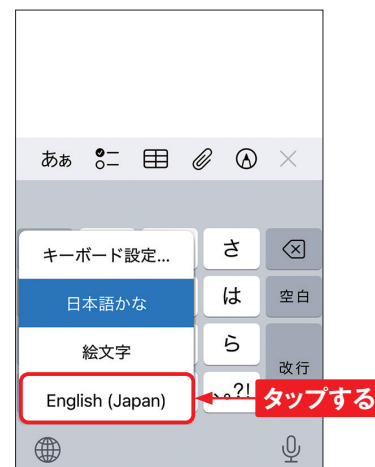
iPhoneのオンスクリーンキーボードは主に、テンキー、フルキーの2種類を利用します。標準の状態では、「日本語かな」「絵文字」「English (Japan)」「音声入力」の4つの入力方法があります。「日本語ローマ字」や外国語のキーボードを別途追加することもできます。なお、「ATOK」や「Simeji」などサードパーティ製のキーボードアプリをインストールして利用することも可能です。

## 2 キーボードを切り替える

- 1 キー入力可能な画面（ここでは「メモ」の画面）になると、オンスクリーンキーボードが表示されます。画面では、テンキーの「日本語かな」が表示されています。キーボードを切り替えたい場合は、🌐をタッチします。



- 2 現在利用できるキーボードが一覧表示されます。その中から目的のキーボードをタップすると、使用するキーボードに切り替わります。ここでは、「English (Japan)」をタップします。



- 3 フルキーの「English (Japan)」に切り替わります。なお、🌐をタップすると、利用できるキーボードを順番に切り替えることができます。



### MEMO キーボードを追加する

手順②で選択できるキーボードに、日本語ではフルキーの「ローマ字入力」(P.35MEMO参照)と「手書き」を追加できます。キーボードを追加するには、手順②の画面で「キーボード設定」をタップし、[キーボード] → [新しいキーボードを追加] → [日本語]の順にタップし、[ローマ字入力]または[手書き]をタップして、[完了]をタップします。





## テンキーの「日本語かな」で日本語を入力する

- ① テンキーは、一般的な携帯電話と同じ要領で入力が可能です。たとえば、**は**を3回タップすると、「ふ」が入力できます。



- ② 入力時に $\text{あ}$ をタップすると、その文字に濁点や半濁点を付けたり、小文字にしたりすることができます。



- ③ 単語を入力すると、変換候補が表示されます。候補の中から変換したい単語をタップすると、変換が確定します。



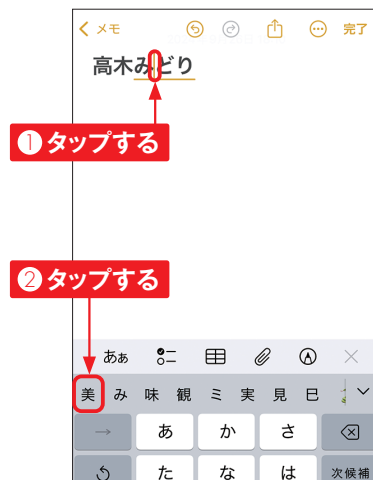
- ④ 文字を入力し、変換候補の中に変換したい単語がないときは、変換候補の欄に表示されている $\text{v}$ をタップします。



- ⑤ 変換候補の欄を上下にスワイプして文字を探します。もし表示されない場合は、 $\text{^}$ をタップして入力画面に戻ります。



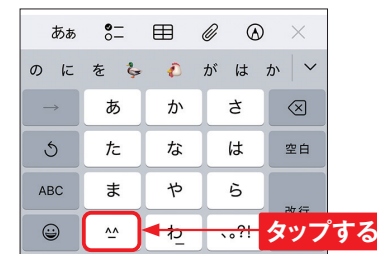
- ⑥ 単語を変換するときには、単語の後ろをタップして、変換の位置を調整し、変換候補の欄で文字を探し、タップします。変換したい単語が候補にないときは、P.30手順④～⑤の操作をします。



- ⑦ 手順⑥で調整した位置の単語だけが変換されました。



- ⑧ 顔文字を入力するときは、 $\text{あ}$ をタップします。



- ⑨ 顔文字の候補が表示されます。入力したい顔文字をタップします。



### MEMO 絵文字を入力する

P.29手順②の画面で「絵文字」をタップし、入力したい絵文字を選択してタップすると、絵文字が入力されます。上部の検索ボックスでは絵文字の検索が可能です。

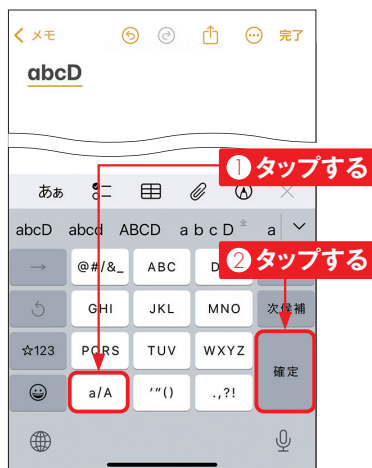


## 🔊 テンキーで英字・数字・記号を入力する

- ① ABCをタップすると、英字のテンキーに切り替わります。



- ② 日本語入力と同様に、キーを何度かタップして文字を入力します。入力時にa/Aをタップすると、入力中の文字が大文字に切り替わり、[確定]をタップすると入力が確定されます。



- ③ 数字・記号のテンキーに切り替えるときは、☆123をタップします。



- ④ キーをタップすると数字を入力できます。キーをタッチしてスライドすると(P.33MEMO参照)、記号を入力できます。

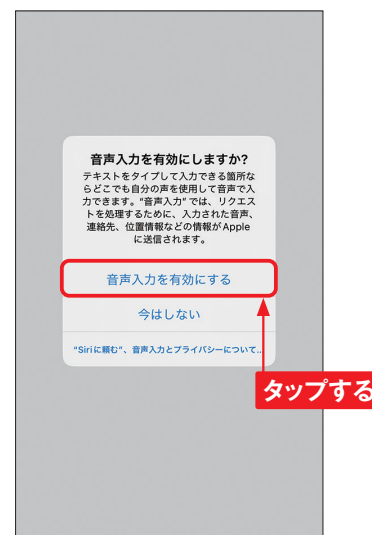


## 🔊 音声入力を行う

- ① 音声入力を行うには、🗣️をタップします。



- ② 初めて利用するときは、[音声入力を有効にする] → [今はしない]の順にタップします。



- ③ iPhoneに向かって入力したい言葉を話すと、話した言葉が入力されます。🗣️をタップすると、音声入力が終了します。



### MEMO そのほかの入力方法

テンキーでは、キーを上下左右にスライドすることで文字を入力できます。入力したい文字のキーをタッチすると、入力できる文字が表示されるので、入力したい文字の方向へスライドします。また、タッチしなくてもすばやくスワイプすることで対応する文字が入力されます。

